

東京大学医科学研究所倫理審査委員会 平成24年度第10回議事要旨

日 時： 平成25年2月6日（水）16：00～17：10  
場 所： 1号館2階会議室  
出席者： 長村（文）委員長  
成澤、関、加藤、北村、吉田、武川、田中の各委員  
欠席者： 大瀧委員  
陪席者： 武藤研究倫理支援室長、神里研究倫理支援室特任助教  
研究推進チーム高田専門員、吉田主任、岩本主任

議事に先立ち委員長から、本日の審査案件は先月の委員会で概要の紹介があったものであり、その後の検討により、本委員会の開催となった旨の経緯とともに、本件に係る調査報告及び今後の改善策等について、資料をもとに説明が行われた。次いで、他機関での倫理審査の状況、検体の診断利用と研究利用、検体管理部署における確認体制、倫理申請に係るフォローアップ体制等について、質疑応答及び意見交換が行われた。

（議事）

1. 倫理審査申請書の審査について

- (1) 24-63 「新たなリンパ腫病理分類法による日本におけるエイズ関連リンパ腫の再分類」（新規）
- (2) 24-64 「日本のエイズ剖検例における日和見感染症、腫瘍の調査」（新規）  
（申請者：検査部・部長／准教授・小柳津 直樹）

申請者から、今回の申請経緯及び前回委員会からの追加事項等について説明があり、次いで、研究内容及び多施設共同研究における本施設の位置付け等について質疑応答が行われた。審議の結果、本研究における本所の役割、また、本所において今後の改善策も検討されていることを勘案し、各申請について以下の点を修正することを条件に承認することとした。

- ① 申請書2・3 2)「資料等」に、診療情報の利用について記載すること。
- ② 情報公開文書の研究期間の記載について、多施設共同研究の主任施設における期間がわかる記載とすること。また、研究参加の語句の表記を検討すること。
- ③ 申請書の研究従事者欄及び研究費欄の記載を必要に応じて修正すること。

以 上